

日本の鬼の交流博物館
平成18年度 春の特別展

あま だ こう いち
天田光一

シルクペイント展

—絹糸の無限の可能性を求めて—

平成18年4月29日(土)～5月7日(日) ※5月1日(月)は休館
日本の鬼の交流博物館 特別展示室(Tel 0773-56-1996)



福知山市を中心とした由良川の中流あたりは、かつて日本でも有数の養蚕地帯でした。時代の進展と変化と共に、養蚕業はすっかり過去のものとなってしまいましたが、今も「蚕(かいこ)さん」は不老不死の虫として愛されており、絹糸の美しさは今も昔も変わりません。

そんな絹糸を愛し、絹糸で絵を描くという独特の技法を考案されたのが、天田光一さん(福知山市大江町河守在住)で、シルクペイントの名も天田さんの命名です。

天田さんは長年、西陣織に従事させていただきに、絹糸の特徴や魅力を知り尽くしておられるのでしょう。その絵はまるで生きているように見えます。それに、職人氣質の純朴さと几帳面さが滲み出ています。

自然や生きものなど慈しむものたちと向き合い、語らいながら、丹念に描かれた絵は、私達の心をなごませてくれ、絹糸が無限の可能性をひめていることを感じさせてくれます。

日本の鬼の交流博物館
福知山市大江町仏性寺 909
Tel・Fax 0773-56-1996

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

入館料

区分	個人	15人以上の団体
一般	310円	一人につき250円
高校生	210円	一人につき160円
小・中学生	150円	一人につき120円